

Q.

GDPと株価は関係あるの？

A.

GDPの拡大にともなって世界株式は上昇してきました。

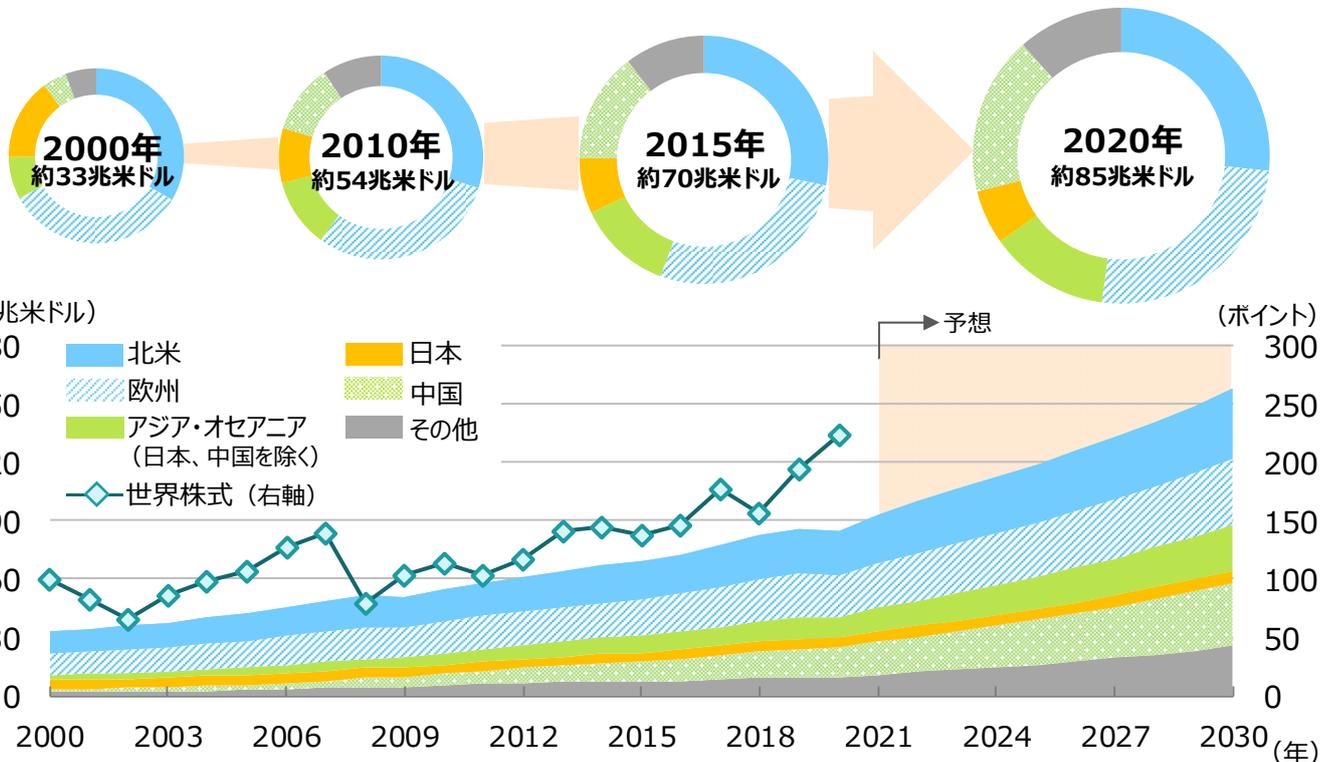
2000年以降でみると、世界のGDPは概ね成長を続けてきました。これは、中国をはじめとする新興国においてGDPの多くを占める個人消費が拡大してきたことが一因として挙げられます。

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界の経済活動は停滞したものの、インターネットショッピングや、スマートフォンなどのデジタルツール、インターネットコミュニケーションサービスなどの需要がこれまで以上に高まり、“非接触型”の新たなライフスタイルに対応するサービスや商品が消費活動を支えています。

世界株式のパフォーマンスについても、リーマンショックやコロナショックのように大幅な調整を余儀なくされる局面もあったものの、GDPの成長とともに上昇してきたことから、GDPの成長と株価には関連性があると考えられます。

世界のGDPは2021年以降も成長が見込まれており、世界株式についても中長期的に上昇していくことが期待されます。

<世界のGDPと世界株式の推移>



(注1) GDPは2000年～2030年、2020年時点の名目値を使用。2021年以降はEuromonitor Internationalの予想値。

(注2) 世界株式は2000年12月末～2020年12月末、MSCI ACワールドインデックスの年末値。2000年12月末を100として指数化。

(出所) Euromonitor International、Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

<デジタル化の加速による企業価値の向上に期待>

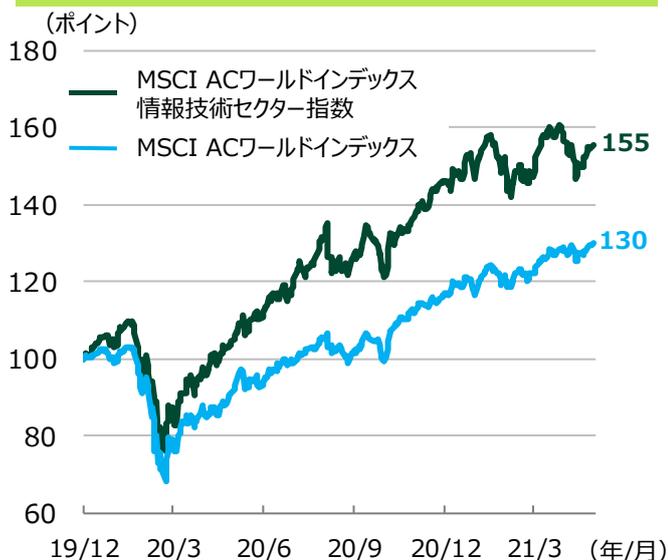
- 新型コロナウイルスの感染拡大によって様々な分野におけるデジタル化の進展が期待され、IT関連企業が多いMSCI ACワールドインデックスの情報技術セクター指数は大きく上昇しました。
- 飛躍的に進化したAI（人工知能）や5Gなどのデジタル技術は、コロナ禍によるライフスタイルの変化の中で今後もあらゆる産業の様々な分野に浸透していくとみられます。
- デジタル化によって生み出される製品やサービスは新たな消費を喚起し、GDPの拡大と企業価値の向上につながると期待されます。

<デジタル化の例>

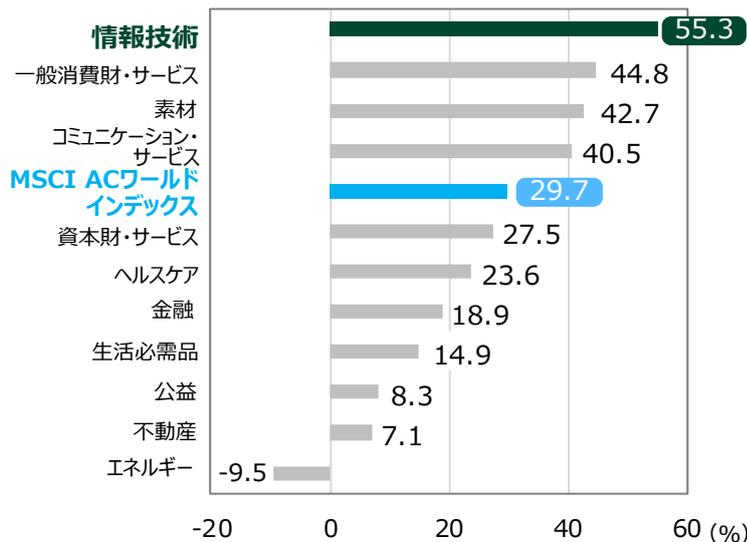


※写真はイメージです。

< MSCI ACワールドインデックスと情報技術セクター指数の推移 >



< MSCI ACワールドインデックスと各セクターの騰落率 >



(注1) 左グラフのデータは2019年12月末～2021年5月末、日次。指数はいずれも米ドルベース。2019年12月末を100として指数化。

(注2) 右グラフの騰落率は2019年12月末と2021年5月末の比較。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクター分類。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。